



電話帳機能と短縮ダイヤル機能の使用方法

Directory メニューを利用すると、次の機能を使用できます。

- 個人電話帳
- 短縮ダイヤル
- 社内ディレクトリ

これらの機能を設定し使用するために、ここでは次の項について取り上げます。

- 電話帳の使用方法 (P.81)
- 短縮ダイヤル ホットキーの設定 (P.88)



Cisco 無線 IP 電話 7920 には、ローカルの個人電話帳が付属しています。個人電話帳を使用して、電話帳エントリの表示、電話帳エントリの追加と編集、および短縮ダイヤル番号の設定ができます。電話帳のエントリには、**PhBook** ソフトキーを押すことによってアクセスできます。



(注)

ご使用の電話機には、**PhBook** ソフトキーの代わりに **Svcs** ソフトキーが表示される場合があります。その場合、電話帳エントリにアクセスするには、**Menu > Directory > Phone Book** を選択する必要があります。

電話帳の使用方法

項目	操作
電話帳の参照とエントリのリストの表示	<p>PhBook を押します。エントリ名が表示されます。</p> <p>電話帳エントリが存在しない場合は、「Empty」と表示されます。</p>
電話帳のエントリの表示	<p>目的の電話帳エントリにスクロールして、Detail を押します。名前や電話番号のリストなど、電話帳エントリの項目が表示されます。</p>
電話帳からの番号のダイヤル	<p>PhBook を押して、エントリにスクロールします。</p> <p> を押して番号をダイヤルします。電話帳エントリの最初の番号がダイヤルされます。</p>
電話帳からの特定の番号のダイヤル	<p>PhBook を押して、エントリにスクロールします。Detail を押して、目的の電話番号にスクロールします。</p> <p> を押して番号をダイヤルします。</p>

項目	操作
既存の電話帳エントリの編集	<p data-bbox="360 197 855 421">PhBook を押して、エントリにスクロールします。Detail を押して、編集するエントリの項目にスクロールします。図 5-1 を参照してください。</p> <p data-bbox="360 463 855 591">Edit を押して、P.37 の「テキストの入力と編集」の手順に従います。</p> <p data-bbox="360 628 855 709">エントリの編集が完了したら OK を押し、Save を押します。</p>

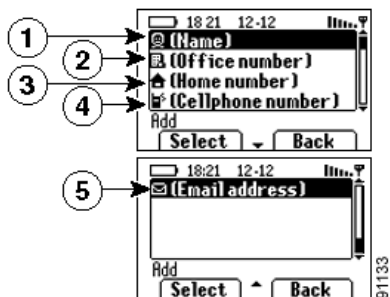
電話帳のエントリの追加または変更

Directory メニューを使用して、新しい電話帳エントリを追加したり、既存のエントリを編集することができます。各電話帳エントリの電話番号は、実際にダイヤルする場合とまったく同じように入力する必要があります。図 5-1 に示す情報を追加することができます。



(注) システム管理者は、7920 設定ユーティリティを使用して、電話帳エントリや短縮ダイヤルエントリを電話機に追加することができます。

図 5-1 電話帳エントリ



1	連絡先の名前
2	オフィスの電話番号エントリ
3	自宅の電話番号エントリ
4	携帯電話番号エントリ
5	電子メールアドレスエントリ

項目	操作
電話帳エントリの参照	<p>Menu を押して Directory > Phone Book を選択します。次に、Names を選択し、エントリを表示します。</p>
電話帳エントリの情報の表示	<p>電話帳エントリにスクロールして、Detail を押します。</p>
新しい電話帳エントリの追加	<p>Menu > Directory > Phone Book > Add を選択します。図 5-1 に示す画面が表示されます。</p> <p>エントリ項目にスクロールして、Select を押します。P.37 の「テキストの入力と編集」の手順に従って、名前または電話番号を入力します。</p> <p>入力が完了したら OK を押し、Save を押します。</p> <p>Back を押して Directory メニューに戻ります。</p>

項目	操作
<p>既存の電話帳エントリの編集</p>	<p>Menu > Directory > Phone Book > Names を選択し、エントリにスクロールします。Detail を押して、自宅番号などの編集対象項目にスクロールします。</p> <p>P.37 の「テキストの入力と編集」の手順に従って項目を編集します。</p> <p>完了したら OK を押し、Save を押します。</p> <p>Back を押して Directory メニューに戻ります。</p>
<p>電話帳エントリの削除</p>	<p>Menu > Directory > Phone Book > Names を選択し、エントリにスクロールします。◀または▶を押して、Erase に切り替えます。</p> <p>Erase を押し、OK を押して、電話レコードの削除を確認します。</p> <p>▶を押して Back に切り替え、ソフトキーを押して Directory メニューに戻ります。</p>

ヒント

- 外部の電話番号を追加する場合は、9 などの外部アクセス番号、および 1 やエリアコードも含めた電話番号全体を入力します。
- 社内ディレクトリを使用するには、P.43 の「社内ディレクトリ リストからのダイヤル」を参照してください。

短縮ダイヤル ホットキーの設定

Cisco 無線 IP 電話 7920 のキーパッドで、数字キー (2 ~ 9) は短縮ダイヤル番号にアクセスするホットキーになります。8 つの短縮ダイヤルホットキーに電話番号を割り当てることができます。番号 1 のキーはボイス メッセージ システムへのアクセス用に予約されています。


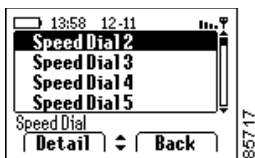

項目	操作
短縮ダイヤルメニューへのアクセス	<p data-bbox="361 683 857 910">Menu を押し、Directory > Phone Book を選択します。 Speed Dial にスクロールして選択します。短縮ダイヤルのホットキーが図 5-2 に表示されます。</p> <p data-bbox="361 930 857 1213"> (注) 短縮ダイヤルのホットキーに電話番号が割り当てられると、<input checked="" type="checkbox"/> がホットキーの隣に表示されます。</p>
短縮ダイヤルホットキーに割り当てられた電話番号の表示	目的の短縮ダイヤル < 番号 > にスクロールして、 Detail を押しします。図 5-2 を参照してください。

図 5-2 Speed Dial メニュー




項目	操作
短縮ダイヤル ホットキーへの 電話番号の割り 当て	<p>使用可能な短縮ダイヤルのホットキーにスクロールして、Detail を押します。</p> <p>Edit を押して情報を入力します。P.37の「テキストの入力と編集」を参照してください。OK を押して短縮ダイヤル番号を保存し、Back を押してメニューを終了します。</p>
短縮ダイヤル ホットキーの電 話番号の変更	<p>設定済みの短縮ダイヤル番号にスクロールして、Detail を押します。</p> <p>Edit を押して、既存の電話番号を変更またはクリアします。変更を確認するには OK を押し、Back を押してメニューを終了します。</p>

項目	操作
短縮ダイヤル ホットキーによる 電話番号の短縮 ダイヤル	<p>使用する短縮ダイヤルのホットキーに対応する  (2～9) を押し続けます。該当のホットキーに保存されている番号が表示され、ダイヤルされます。</p>
電話画面に表示される短縮ダイヤル番号の追加または変更	<p>Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページにログインし、ご使用の Cisco 7920 デバイスを選択します。メインメニューから [短縮ダイヤルの追加または更新] を選択します。</p> <p>この Web ページで電話番号と名前を入力することにより、短縮ダイヤル番号を設定または変更することができます。</p> <p>短縮ダイヤルの詳細については、『<i>Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ</i>』を参照してください。</p>

項目	操作
短縮ダイヤルのインデックス番号による電話番号の短縮ダイヤル	短縮ダイヤルのインデックスを入力して Abbr を押します。 ユーザ オプション Web ページを使用して、最大 99 個の短縮ダイヤル番号を設定できます。

ヒント

- 画面に、ユーザ オプション Web ページで設定された短縮ダイヤル番号の最初の数個の名前が表示されます。短縮ダイヤルのリストからコールを発信するには、名前にスクロールして  を押します。
- 必要に応じて、9 などのプレフィクスやエリアコードも含めて、実際にダイヤルする場合とまったく同じように外部の電話番号を入力する必要があります。

